

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 令和2年中の災害発生状況

(1) 人的被害

軽傷者16人

(2) 住家被害

床下浸水3棟

第1表 令和2年中の災害発生状況

発生年月日		災害名	豪雨		豪雨		地震	大雪		計	
			6月10日～16日	6月27日～28日	7月8日	7月10日～14日	9月4日	12月19日～20日	12月31日		
区分											
人的被害	死者	人								0	
	行方不明者	人								0	
	負傷者	重傷	人								0
		軽傷	人					13	2	1	16
住家被害	全壊	棟								0	
	半壊	棟								0	
	一部破損	棟								0	
	床上浸水	棟								0	
	床下浸水	棟			3					3	
非住家	公共建物	棟								0	
	その他	棟								0	
その他	田	流失・埋没	ha							0	
		冠水	ha							0	
	畑	流失・埋没	ha							0	
		冠水	ha							0	
	学校	箇所								0	
	病院	箇所								0	
	道路	箇所	3	1		1				5	
	橋りょう	箇所								0	
	河川	箇所	5							5	

発生年月日		災害名		豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	地震	大雪	大雪	計
				6月10日～16日	6月27日～28日	7月8日	7月10日～14日	9月4日	12月19日～20日	12月31日	
区分											
そ の 他	港 湾	箇所									0
	砂 防	箇所	4								4
	清掃施設	箇所									0
	崖くずれ	箇所									0
	鉄道不通	箇所									0
	被害船舶	隻									0
	水 道	戸									0
	電 話	回線									0
	電 気	戸									0
	ガ ス	戸									0
火災発生	建 物	件									0
	危険物	件									0
	その他	件									0
り災世帯数		世帯									0
り災者数		人									0
公立文教施設		千円									0
農林水産業施設		千円	5,023								5,023
公共土木施設		千円	115,294	43,407		71,287					229,988
その他の公共施設		千円									0
公共施設被害市町村数		団体	4	1		1					6
その他被害		千円									0
被害総額		千円	120,317	43,407		71,287					235,011
都道府県	設 置										/
災害対策本部	解 散										
災害対策本部設置市町								1			1
災害救助法適用市町											/
消防職員出動延人数		人									0
消防団員出動延人数		人									0

2 過去5年間の災害発生状況（平成28年～令和2年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2015 (平27) 12.17 ～ 2016 (平28) 2.29	大雪	(1)人的被害 軽傷 4人	12月は低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多く、1月24日から25日にかけて嶺北中心に、2月中頃は嶺南中心に一時的に冬型の気圧配置が強まって大雪となった。 (日最大降雪量(2016年1月～2月)) 福井 36 cm 1月24日 敦賀 21 cm 2月16日 九頭竜 35 cm 1月19日 大野 34 cm 1月24日 武生 26 cm 1月25日 今庄 50 cm 1月25日 小浜 15 cm 2月16日 (最深積雪(2016年1月～2月)) 福井 47 cm 1月26日 敦賀 21 cm 2月16日 九頭竜 87 cm 1月25日 大野 57 cm 1月25日 武生 39 cm 1月25日 今庄 59 cm 1月25日 小浜 27 cm 2月16日
2016 (平28) 4.17	暴風	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他被害 15,075千円	華中で前線上に発生した低気圧が、発達しながら北東に進み、17日未明には朝鮮半島に、その後も発達しながら日本海を北東に進み、17日夜には北海道西海上に進んだ。この低気圧の影響で福井県内では、16日夜から風が強まり、17日昼過ぎにかけて非常に強い風を観測した所があった。 (日最大風速(17日)) 三国 21.2m/s(南) 10時35分 敦賀 20.0m/s(南南東)06時41分 (日最大瞬間風速(17日)) 敦賀 32.9m/s(南南東)08時08分 三国 30.1m/s(南) 11時13分
2016 (平28) 5.3	暴風	(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 10棟 (3)非住家被害 その他 3棟 (4)農林水産業施設被害 15,000千円 (5)その他の公共施設被害 854千円 (6)その他被害 6,800千円	黄河下流で発生した低気圧は、ボツ海から黄海付近を通過し、中国東北区を進んだ3日昼頃にかけて急速に発達し、その後は東北東進した。この低気圧からのびる寒冷前線が、3日夜から4日未明にかけて北陸地方を通過した影響で、福井県内では、3日未明から風が強まり、夜遅くかけて非常に強い風を観測した所があった。 (日最大風速(3日)) 敦賀 22.9m/s(南南東)20時15分 三国 21.7m/s(南南東)22時05分 (日最大瞬間風速(3日)) 敦賀 35.8m/s(南東) 11時17分 三国 31.6m/s(南南東)21時57分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2016 (平28) 6.25	大雨	(1)農林水産業施設被害 9,757千円	前線を伴った低気圧が日本海を北東進した影響で、嶺北を中心に大雨となり強い雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(26日)) 三国 42.0mm 05時33分
2016 (平28) 9.20	台風 16号	(1)住家被害 床上浸水 1棟 一部破損 1棟 (2)公共土木施設被害 224,135千円 (3)その他被害 1,136千円 (4)災害対策本部設置市町 敦賀市、池田町	台風16号が、太平洋沿岸を北東進した影響で、福井県では、19日から20日にかけて雨が降り、強い雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(20日)) 敦賀 33.5mm 14時46分 九頭竜 28.5mm 16時11分 小浜 28.5mm 13時24分 (日降水量(20日)) 九頭竜 117.0mm、大飯 109.5mm
2016 (平28) 10.5	台風 18号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他被害 300千円	台風18号が、対馬海峡から山陰沖を通過し能登半島沖に進んだ影響で、福井県では、5日昼前から風が強まり、5日夜遅くにかけて強い風を観測した所があった。 (日最大風速(5日)) 敦賀 16.0m/s(南南東)16時10分 三国 18.4m/s(南) 19時31分 (日最大瞬間風速) 三国 26.4m/s(南) 19時25分 敦賀 25.3m/s(南南東)15時52分
2017 (平29) 8.7~8	台 風 5 号	(1)住家被害 全壊 1棟 床下浸水 3棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 3箇所 (4)その他被害 河川 24箇所 (5)その他被害 港湾 2箇所 (6)その他被害 砂防 5箇所 (7)公共土木施設被害 393,080千円 (8)災害対策本部設置市町 小浜市	台風第5号は、四国の南を通り、7日15時半頃に暴風域を伴ったまま和歌山県北部に上陸した。上陸後は近畿地方を北東に進み8日には石川県白山市付近を通過した影響で、福井県では、7日から8日にかけて断続的に強い雨が降った。 8日は激しい雨を観測した所もあり、7日00時から8日24時にかけての総降水量は、奥越、嶺南を中心に200mmを超えた所があった。 (日最大1時間降水量(8日)) 美山 41.0mm 06時45分 小浜 35.0mm 00時55分 (7日~8日の期間降水量) 九頭竜 223.5mm、敦賀 207.5mm
2017 (平29) 8.12	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 1箇所 (4)公共土木施設被害 20,496千円 (5)災害対策本部設置市町 高浜町	気圧の谷や湿った空気の影響で、嶺南では激しい雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(12日)) 大飯 45.5mm 04時14分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2017 (平29) 8.25	大雨	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 砂防 1箇所 (4)公共土木施設被 16,588千円 (5)災害対策本部設置市町 永平寺町	低気圧から伸びる前線が北陸地方を南下したため、雷を伴って激しい雨の降った所があった。 (日最大1時間降水量(25日)) 勝山 42.0mm 10時03分 大野 39.0mm 11時00分 福井 34.5mm 09時45分 春江 34.0mm 09時27分
2017 (平29) 9.18	台風18号	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 港湾 1箇所 (4)その他被害 砂防 1箇所 (5)電気被害 31戸 (4)公共土木施設被 275,419千円	台風第18号が、兵庫県明石市付近に上陸した後、17日夜遅くから18日未明にかけて福井県を通過した影響で、福井県では激しい雨の降った所があった。 また、台風が最も接近した17日夜遅くから風が強まり、18日未明に強い風を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(18日)) 越廼 43.5mm 00時12分 (日最大1時間降水量(17日)) 大飯 38.0mm 23時34分 三国 37.5mm 23時16分 九頭竜 35.0mm 23時25分 (17日～18日の期間降水量) 大飯 114.5mm、小浜 112.5mm (日最大風速(18日)) 敦賀 17.2m/s(北西)00時32分 小浜 16.8m/s(北西)00時49分 (日最大瞬間風速(18日)) 敦賀 26.2m/s(北西)00時24分 小浜 30.6m/s(北北西)00時40分
2017 (平29) 10.22～ 23	台風21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 4人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 609棟 床上浸水 5棟 床下浸水 57棟 (3)非住家被害 公共施設 9棟 その他 87棟 (4)その他被害 学校 20箇所 (5)その他被害 病院 1箇所 (6)その他被害 道路 127箇所 (7)その他被害 橋りょう 1箇所 (8)その他被害 河川 89箇所 (9)その他被害 港湾 4箇所 (10)その他被害 砂防 31箇所 (11)その他被害 清掃施設 2箇所 (12)その他被害 崖くずれ 4箇所 (13)その他被害 被害船舶 9隻 (14)電話被害 4回線 (15)電気被害 7,545戸 (16)公共文教施設被害 15,912千円	台風第21号が、静岡県御前崎市付近に上陸した後、東海地方および関東地方を北東に進んだ影響で、福井県では激しい雨を観測した所があった。 台風が最も接近した22日夜遅くから23日未明にかけて、非常に強い風を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(22日)) 大飯 38.0mm 22時33分 越廼 34.5mm 23時21分 (日最大1時間降水量(23日)) 大飯 31.0mm 00時01分 (22日～23日の期間降水量) 大飯 304.0mm、小浜 279.0mm 今庄 253.0mm、 (日最大風速(23日)) 春江 23.1m/s(北)01時47分 今庄 22.5m/s(北)02時43分 小浜 20.3m/s(北)01時04分 (日最大瞬間風速(23日)) 春江 33.4m/s(北)01時44分 今庄 36.8m/s(北)02時37分 小浜 38.8m/s(北)02時07分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
		(17)農林水産業施設被害 479,172 千円 (18)公共土木施設被害 4,124,326 千円 (19)その他の公共施設被害 129,904 千円 (20)その他被害 592,067 千円 (21)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 越前市、永平寺町、越前町、 高浜町、おおい町	
2018 (平30) 1.12～14	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 4人 軽傷 8人 (2)住家被害 一部損壊 1棟 (3)農産被害 24,314 千円	1月中旬から2月中旬にかけて、強い寒気が周期的に入った。 特に、2月3日から8日は強い冬型の気圧配置が続いたため、嶺北を中心に記録的な大雪となった。 嶺北では5日夜遅くから6日昼前にかけて1時間に5cmを超える強い雪が断続的に降り、6日10時までの12時間で50cm前後の降雪量を観測した所があった。 7日15時には福井市の積雪がこの期間の最深の147cmに達し、昭和56年の豪雪(196cm)以来の大雪となった。
2018 (平30) 1.24～29	大雪	(1)人的被害 重傷 6人 軽傷 1人 (2)その他 学校 1箇所	8日午後から10日は一時的に冬型の気圧配置は緩んだが、11日から13日前半にかけて再び冬型の気圧配置が強まり、嶺北中心に大雪となった。 (最深積雪(2017年12月～2018年2月)) 福井 147cm(2月7日) 武生 130cm(2月13日) 大野 177cm(2月13日) 九頭竜 301cm(2月13日) 今庄 162cm(2月13日) 敦賀 57cm(2月8日) 小浜 48cm(2月8日) (大雪警報発表日) 1月11日、1月12日、1月13日、1月24日、 2月4日、2月5日、2月6日、2月7日、 2月8日、2月12日、2月13日
2018 (平30) 2.5～22	大雪	(1)人的被害 死者 12人 重傷 26人 軽傷 94人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 542棟 床下浸水 7棟 (3)非住家被害 公共建物 6棟 その他 121棟 (4)その他 学校 26箇所 (5)その他 道路 1箇所 (6)その他 橋梁 1箇所 (7)公立文教施設被害 5,627 千円 (8)農林水産業施設被害 205,417 千円 (9)公共土木施設被害 309,201 千円 (10)その他公共施設被害 35,588 千円 (11)その他被害 1,027,460 千円 (12)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、 鯖江市、あわら市、越前市、 坂井市、永平寺町	
2018 (平30) 3.5	大雪	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟	
2018 (平30) 3.8	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 19,051 千円	

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2018 (平30) 3.22～23	融雪	(1)その他 道路 1 棟 (2)公共土木施設被害 17,722 千円	
2018 (平30) 7.4～12	大雨	(1)住家被害 一部破損 4 棟 床上浸水 3 棟 床下浸水 18 棟 (2)非住家被害 その他 1 棟 (3)その他 学校 2 箇所 (4)その他 道路 26 箇所 (5)その他 河川 37 箇所 (6)その他 港湾 15 箇所 (7)その他 崖崩れ 2 箇所 (8)電気被害 24 戸 (9)公立文教施設被害 450 千円 (10)農林水産業施設被害 101,733 千円 (11)公共土木施設被害 2,638,337 千円 (12)その他の公共施設被害 458 千円 (13)その他被害 1,157 千円 (14)災害対策本部設置市町 敦賀市、大野市、あわら市、 越前市、永平寺町、 南越前町、越前町、高浜町	4 日は台風第 7 号が日本海を北東に進み、その後、8 日にかけて梅雨前線が本州付近に停滞した。 日本付近には暖かく湿った空気が供給され続けたため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。 福井県では、多い所では 4 日から 8 日までの総降水量が 400mm を超える大雨となった。 (4 日から 8 日までの総降水量) 九頭竜 424.5mm、三国 417.0mm、越廼 330.0mm 三国、越廼、勝山、武生、今庄、美浜、大飯では 7 月の日降水量の極値を更新した。 (極値を更新したアメダス) 三国(7 日:164mm)、越廼(7 日:193mm)、 勝山(5 日:178mm)、武生(5 日:183mm)、 今庄(5 日:161mm)、美浜(5 日:131.5mm)、 大飯(7 日:151mm) 平成 30 年 6 月 28 日以降の台風第 7 号や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、気象庁は、この大雨の名称を「平成 30 年 7 月豪雨」と定めた。
2018 (平30) 8.24	台風 20号	(1)人的被害 軽傷 3 人 (2)住家被害 一部破損 24 棟 (3)非住家被害 公共建物 1 棟 その他 1 棟 (4)田 冠水 3.0ha (5)その他 学校 2 箇所 (6)その他 道路 17 箇所 (7)その他 鉄道不通 1 箇所 (8)その他 被害船舶 3 隻 (9)電気被害 20 戸 (10)公立文教施設被害 1,296 千円 (11)農林水産業施設被害 146 千円 (12)公共土木施設被害 20,992 千円 (13)その他の公共施設被害 715 千円 (14)その他被害 1,100 千円 (15)災害対策本部設置市町 小浜市、鯖江市	台風第 20 号は、23 日は、四国の南海上を北上し、強い勢力で暴風域を伴ったまま 23 日 21 時頃に徳島県南部に上陸した。その後も暴風域を伴ったまま四国から近畿地方を北上し、24 日 2 時に日本海に抜けた後、15 時に秋田県沖で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速(24 日)) 福井 17.4m/s(南東) 00 時 49 分 敦賀 21.3m/s(南南東)03 時 00 分 (日最大瞬間風速(24 日)) 福井 29.5m/s(南) 03 時 16 分 敦賀 37.5m/s(南東)00 時 50 分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2018 (平30) 9.4～5	台風 21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 6人 (2)住家被害 半壊 4棟 一部破損 115棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 8棟 (4)その他 学校 12箇所 (5)その他 道路 9箇所 (6)その他 河川 6箇所 (7)その他 砂防 1箇所 (8)その他 鉄道不通 1箇所 (9)その他 被害船舶 1隻 (10)電気被害 5,200戸 (11)公立文教施設被害 7,674千円 (12)農林水産業施設被害 10,142千円 (13)公共土木施設被害 76,052千円 (14)その他の公共施設被害 82,999千円 (15)その他被害 2,792千円 (16)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町	台風第21号は暴風域を伴い非常に強い勢力を維持して4日12時頃に徳島県南部に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま北北東に進み、14時頃に兵庫県神戸市付近に再上陸した。 15時には若狭湾に達し、日本海を北上した後、5日9時に間宮海峡で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速(4日)) 福井 21.8m/s(南南東)15時59分 敦賀 26.3m/s(南南東)15時29分 (日最大瞬間風速(4日)) 福井 37.9m/s(南) 16時22分 敦賀 47.9m/s(東南東)15時00分
2018 (平30) 9.30～ 10.1	台風 24号	(1)住家被害 一部破損 3棟 (2)その他 砂防 1箇所 (3)その他 鉄道不通 1箇所 (4)電話被害 6回線 (5)公共土木施設被害 7,430千円 (6)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町、高浜町	台風第24号は、四国の南海上を北東に進み、非常に強い勢力を維持して30日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま更に速度を速めて東海、関東甲信、東北地方を北東に進み、10月1日12時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速) 福井 12.0m/s(北北西)1日00時27分 敦賀 21.8m/s(北北西)30日23時49分 (日最大瞬間風速) 福井 23.7m/s(北) 1日00時08分 敦賀 30.8m/s(北北西)30日23時42分
2017 (平29) 12.25～ 2019 (平31) 1.4	地滑り	(1)公共土木施設被害 1,157,665千円	福井市蔵作町の主要地方道武生美山線において、12月25日に一次崩壊が発生し、12月29日から1月3日にかけて斜面が高さ85m、巾60m、深さ10mにわたる地すべりによって、約1万㎡の土砂が道路を寸断した。 12月25日～29日まで片側交互通行を行っていたが、12月29日から平30年1月4日までは全面通行止め。迂回路の設置完了に伴い、1月4日から片側交互通行とし、付替道路の設置完了に伴い、令和3年7月7日から対面通行を開始した。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2019 (令元) 8.16	台風 10号	(1)農林水産業施設被害 9,488千円	台風第10号は、日本の南海上を北西に進み、次第に進路を北に変え、15日11時過ぎに愛媛県佐田岬半島付近を通過した後、15日15時頃に広島県呉市付近に上陸し、中国地方を縦断後に日本海を北上した。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 16日02時48分 (日降水量) 九頭竜 92.0mm 16日 (期間降水量(15日～16日)) 九頭竜 138.0mm (日最大風速(15日)) 福井 14.8m/s(南南東)21時33分 敦賀 19.2m/s(南南東)19時07分 (日最大瞬間風速(15日)) 福井 23.9m/s(南東)19時17分 敦賀 33.5m/s(南南東)19時03分
2019 (令元) 10.12～ 10.13	台風 19号	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共土木施設被害 37千円 (3)その他の公共施設被害 1,099千円 (4)その他被害 25,726千円	台風第19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風が発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 小浜 13.5mm 12日13時25分 今庄 12.0mm 12日15時03分 (日降水量) 小浜 113.0mm 12日 今庄 100.0mm 12日 (期間降水量(12日～13日)) 小浜 127.0mm 今庄 111.0mm (日最大風速(12日)) 福井 12.5m/s(北北西)20時41分 春江 18.7m/s(北)21時01分 敦賀 20.0m/s(北西)20時06分 (日最大瞬間風速(12日)) 福井 22.3m/s(北北西)23時48分 春江 27.8m/s(北北西)20時36分 敦賀 29.9m/s(北北西)19時22分
2020 (令2) 6.10～ 6.16	大雨	(1)農林水産業施設被害 5,023千円 (2)公共土木施設被害 115,294千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により14日を中心に激しい雨が降り大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 39.5mm 14日17時54分 春江 38.0mm 14日18時05分 福井 36.0mm 14日18時17分 敦賀 32.0mm 14日19時37分 小浜 31.5mm 13日07時49分 (日降水量) 春江 125.5mm 14日 越廼 111.0mm 14日 三国 108.5mm 14日 勝山 105.0mm 14日 福井 103.5mm 14日

年月日	種類	被害状況	気象状況
2020 (令2) 6.27～ 6.28	大雨	(1)公共土木施設被害 43,407千円	梅雨前線の影響により28日は非常に激しい雨が降り、大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 50.0mm 28日 02時13分 福井 36.5mm 28日 02時40分 美山 36.0mm 28日 03時23分 (日降水量) 越廼 97.0mm 28日 福井 78.5mm 28日 美山 57.5mm 28日
2020 (令2) 7.8	大雨	(1)住家被害 床下浸水 3棟	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 8日 03時42分 敦賀 26.5mm 8日 05時07分 今庄 19.5mm 8日 05時30分 (日降水量) 九頭竜 80.0mm 8日 敦賀 53.0mm 8日 今庄 53.0mm 8日
2020 (令2) 7.10～ 7.14	大雨	(1)公共土木施設被害 71,287千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 三国 21.5mm 11日 05時16分 春江 19.5mm 11日 06時39分 美山 19.0mm 11日 05時47分 (日降水量) 九頭竜 68.5mm 13日 勝山 51.0mm 13日 春江 42.5mm 11日 今庄 42.5mm 13日
2020 (令2) 9.4	地震	(1)人的被害 軽傷 13人	福井県嶺北を震源とする地震 9月4日 09時10分 M5.0 深さ7km 北緯 36度 06.9分 東経 136度 11.3分 震度5弱 坂井市 震度4 福井市、あわら市 震度3 鯖江市、永平寺町、越前町、越前市

年月日	種類	被害状況	気象状況
2020 (令2) 12.19～ 12.20	大雪	(1)人的被害 軽傷 2人	12月14日～20日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により奥越では大雪となった。 (日降雪量最大値) 大野 24cm 12月16日 九頭竜 40cm 12月16日 (最深積雪) 大野 45cm 12月20日 九頭竜 77cm 12月18日
2020 (令2) 12.31～ 2021 (令3) 1.1	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月31日から1月1日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 10cm 12月31日 武生 10cm 1月1日 大野 21cm 1月1日 九頭竜 36cm 1月1日 今庄 27cm 12月31日 敦賀 18cm 12月31日 小浜 12cm 12月31日 (最深積雪) 福井 17cm 12月31日 武生 18cm 1月1日 大野 63cm 1月1日 九頭竜 98cm 1月1日 今庄 35cm 1月1日 敦賀 22cm 1月1日 小浜 11cm 12月31日

第2章 令和2年の天候概況

1 天候の特徴

◇ 年（1月～12月）の概況

1月～2月は暖冬（記録的な暖冬、少雨、多照、記録的な少雪）。低気圧や気圧の谷の影響で雨や曇りの日が多かったが、冬型の気圧配置は一時的で雪の日は少なかった。また、寒気の南下が弱く、暖かい空気に覆われたため、月の気温は記録的に高く、降雪量も記録的に少なかった。全てのアメダス地点で1月の平均気温の高い方からの極値を更新した。

3月～5月は、高温・多照。3月と5月には南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため気温が高かった。また、3月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったことから日照時間が多かった。

6月～8月は、かなりの多雨。6月は高気圧に覆われ、晴れた日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、かなりの高温、かなりの多雨となった。7月は前線や湿った空気の影響で雨や曇りの日が多く、多雨、かなりの寡照となった。8月は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

9月～11月は、かなりの高温。9月は台風第9号や台風第10号の北上により南から暖かい空気が流れ込んだため気温が高くなった。10月は雨や曇りの日が多かったが高気圧に覆われて晴れた日もあった。11月は中旬を中心に高気圧に覆われ晴れた日が多く、高温、多照となった。

12月は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。中旬の後半以降は、冬型の気圧配置となり、曇りや雪または雨の日が多く、大雪となった所もあった。また、中旬は日照時間がかなり少なく、下旬は降水量がかなり多かった。

官署等	平均気温			降水量			日照時間		
	本年(°C)	平年差(°C)	階級区分	本年(mm)	平年比(%)	階級区分	本年(h)	平年比(%)	階級区分
福井	15.6	+0.8	かなり高い	2531.5	110	多い	1695.3	103	平年並
敦賀	16.3	+0.7	高い	2461.0	112	多い	1619.8	101	平年並

※平年差（比）は、平年値（1991年～2020年の30年平均値）から求めている。

◇ 台風

台風の年間発生数は平年より少ない23個（平年値25.1個）となり、日本への接近数は7個（平年値11.7個）、上陸数は0個（平年値3.0個）。北陸地方への接近数は0個（平年値2.8個）となった。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生					1	1		8	3	6	3	1	23	25.1
上陸 (注1)													0	3.0
北陸地方に 接近した台風													0	2.8

(注1) 「上陸」は台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指す。

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としている。

・接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

2 月別気象概況

◇ 2020年（令和2年）月別気象概況

1月

冬型の気圧配置や低気圧の影響で雨や曇りの日が多くなったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

平均気温は全ての地点で平年よりかなり高くなった。全地点で1月の平均気温の高い方からの極値を更新した。

降水量は、大飯で平年よりかなり少なく、春江、九頭竜では平年より多く、大野、美浜、小浜では平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国で平年より多く、越廼、美浜では平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

2月

冬型の気圧配置や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多くなったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

平均気温は、大野で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、敦賀、美浜、大飯で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、全ての地点で平年並となった。

3月

冬型の気圧配置や低気圧の影響により、曇りや雨の日が多くなったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、大飯で平年よりかなり少なく、美浜、小浜では平年より少なく、勝山、美山、九頭竜、今庄では平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国、越廼で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

4月

高気圧と低気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変わった。気温は寒気の影響により、平年を下回る日が多くなった。

平均気温は、三国、勝山で平年より低く、その他の地点では平年よりかなり低くなった。

降水量は、春江、勝山で平年並、小浜、大飯では平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、越廼で平年より少なく、福井、勝山では平年より多く、その他の地点では平年並となった。

5月

高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、南からの湿った空気の影響を受けにくく、少雨となった。平均気温は、三国、福井、勝山、大野、今庄で平年より高く、その他の地点では平年並となった。降水量は、三国、春江、越廼で平年よりかなり少なく、福井、美山、勝山、武生、今庄では平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

6月

高気圧に覆われ、晴れた日もあったが、梅雨前線や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、大雨となった日もあった。また、北陸地方は6月11日ごろに梅雨入りした。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、三国、春江、越廼、福井、美山、勝山、武生で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、福井で平年よりかなり多く、大野では平年並、その他の地点では平年より多くなった。

7月

梅雨前線や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、大雨となった日もあった。中旬は高気圧に覆われ晴れた日もあった。

平均気温は、勝山で平年よりかなり低く、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、越廼、美山、九頭竜、今庄、敦賀、美浜で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、全ての地点で平年よりかなり少なくなった。

8月

高気圧に覆われて晴れた日が多くなり気温も高く猛暑日や熱帯夜となった日もあったが、上旬、中旬には大雨となった日もあった。また、北陸地方は8月1日ごろに梅雨明けした。

平均気温は、春江、越廼、福井、敦賀で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、今庄で平年よりかなり少なく、福井、美山、勝山では平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、越廼、今庄で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

9月

高気圧に覆われ晴れた日もあったが、台風第9号、台風第10号や低気圧及び前線、寒気、湿った空気の影響により、雨や曇りで雷を伴い大雨となった日もあった。

平均気温は、三国で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、大飯で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、越廼、今庄、美浜、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

10月

上旬と下旬は低気圧や湿った空気の影響により、雨や曇りの日が多くなったが、中旬は高気圧に覆われ晴れた日が多くなった。

平均気温は、三国で平年並、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、美山、勝山、大野、九頭竜、今庄、敦賀で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、三国、福井、敦賀で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

11月

上旬、下旬は西高東低の気圧配置となった影響により、雨や曇りの日が多くなったが、中旬は高気圧に覆われ晴れた日が多くなり、夏日を観測した所もあった。

平均気温は、全ての地点で平年より高くなった。

降水量は、小浜で平年より多く、敦賀、美浜で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、越廼で平年並、今庄、小浜では平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

12月

冬型の気圧配置や気圧の谷および寒気の影響により、上旬は雨や曇りとなった日が多くなったが、中旬以降は雪やみぞれまたは雨の日が多くなった。

平均気温は、美浜、小浜で平年より低く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、九頭竜で平年より少なく、敦賀、美浜では平年よりかなり多く、三国、福井、美山、大野、小浜では平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、敦賀、美浜、小浜で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

令和2年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

- ・災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を行い、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に実施した。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、敦賀市栗野スポーツセンターを主会場に、会場を分散して総合防災訓練を実施した。
- ・大規模複合災害への着実な対応として、実動部隊による現地を活用した実践的な訓練、避難所での新型コロナウイルス感染症対策およびSNSを活用した避難者の受付、防災関係機関によるライフライン復旧訓練、外国人避難者への避難支援、また、敦賀市において住民避難・誘導訓練を実施した。

2 日時、場所

令和2年11月14日（土）7時30分～12時00分

- 主訓練会場 栗野スポーツセンター（敦賀市長谷地係）
- サテライト会場 黒河小学校（敦賀市御名地係）
きらめきみなと館（敦賀市桜町地係）
敦賀新港（敦賀市金ヶ崎町地係） など

3 主催

福井県、敦賀市

4 想定

嶺南東部における大雨および地震による複合災害

5 参加機関 90機関（約600人）

（1）国の行政機関

中部管区警察局福井県情報通信部、東京管区気象台福井地方気象台、北陸総合通信局、

国土地理院北陸地方測量部、近畿地方整備局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、中部運輸局福井運輸支局、第八管区海上保安本部警備救難部、第八管区海上保安本部敦賀海上保安部、第八管区海上保安部美保航空基地

(2) 自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊第6航空団、航空自衛隊小松救難隊、海上自衛隊第23航空隊

(3) 警察関係

福井県警察本部、敦賀警察署、各市防犯隊

(4) 消防関係

福井県消防長会、敦賀美方消防組合消防本部、福井市消防局、嶺北消防組合消防本部、永平寺町消防本部、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、敦賀消防団、自主防災組織、(公財)福井県消防協会

(5) 医療関係

(一社)福井県医師会、(一社)敦賀市医師会、(一社)大野市医師会、(公社)福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井大学医学部付属病院、福井勝山総合病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、福井総合病院

(6) 交通運輸関係

福井県倉庫協会、(一社)福井県トラック協会、日本通運(株)福井支店、全日本高速道路レッカー事業協同組合北陸支部、新日本海フェリー(株)、(一社)福井県タクシー協会、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社

(7) ライフライン関係

北陸電力(株)福井支店、北陸電力送配電(株)福井支社、(一財)北陸電気保安協会福井支店、(一社)敦賀建設業協会、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、福井県石油業協同組合、関西電力(株)原子力事業本部、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

(8) 各種団体

北陸地方非常通信協議会、敦賀市管工事協同組合、福井県災害ボランティアセンター連

絡会、敦賀市災害ボランティアセンター連絡会、敦賀市社会福祉協議会、福井県ドローン協会、敦賀FM放送(株)、日本アマチュア無線連盟敦賀クラブ、日産プリンス福井販売(株)、福井日産自動車(株)、福井三菱自動車販売(株)、(公財)福井県国際交流協会、福井県防災士会、敦賀市防災士会

(9) 地元地区関係

敦賀市

6 主な訓練項目

(1) 実働機関による実践的な訓練

- ・大型旅客船事故に係る救出救助およびDMAT隊によるトリアージ
- ・土砂災害に巻き込まれた車両からの救助
- ・倒壊した建物からの救助

(2) 避難所運営訓練

- ・避難所での新型コロナウイルス感染症対策
- ・LINEによる避難所受付

(3) ライフライン復旧訓練

- ・避難所への電気自動車による給電
- ・停電時の電力復旧対応
- ・地震による断水の復旧対応

<訓練項目図>

時間	08:30	09:00	09:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00				
① 粟野地区 (粟野スポーツセンター等)	避難所設営訓練 8:00~9:00	避難所運営訓練(コロナ対策、LINE実証実験等)9:10~11:00 県防災ネットを用いた外国人避難訓練	避難先変更 移動訓練	ドローン 映像伝達	自主防 救助訓練 10:10~10:40	山岳検索 救助訓練 11:05~11:20	救助活動連携訓練9:50~11:20 (消防、警察、自衛隊、美浜レスキューセンター)	電気自動車からの給電訓練9:00~11:00	道路啓開訓練 10:40~11:20	閉会式 11:30~12:00		
② 敦賀新港									大型旅客事故に係る巡視船による救助訓練 9:45~11:00	閉会 (閉会挨拶: 海上保安本部 警備救難部長) 12:40~12:50		
③ 古田川公園									ドローン 映像伝達	土のう積み・排水訓練 10:00~10:50	中州救 助訓練 11:00~11:15	閉会 (閉会挨拶: 敦賀市土木部長) 11:15~11:25
④ 黒河小学校	避難所設営訓練 8:30~9:20	避難所運営訓練(コロナ対策、LINE実証実験等) 9:20~10:55							電気自動車からの 給電訓練 9:40~10:30	救出 救助 訓練 10:50~11:05	閉会 (敦賀市) 11:05~ 11:10	
⑤ 愛発公民館									奥麻生→愛発	孤立集落から救助 拠点への搬送訓練 10:10~10:30		
⑥ 敦賀きらめき みなと館									空輸搬送訓練 10:00~10:30	陸路搬送訓練 10:35~11:20		

(2) 住民避難訓練・支援訓練

- ・ 敦賀市民 約100名が住民避難訓練に参加
- ・ 粟野スポーツセンターおよび黒河小学校で住民避難および避難所運営訓練を実施
- ・ 外国人の避難・情報伝達訓練
- ・ 陸路・空路による物資輸送 (物資集積拠点→避難所へのラストマイル訓練)

Ⅱ 原子力防災訓練

1 目 的

福井県原子力防災計画および福井県広域避難計画要綱に基づき、国、県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力総合防災訓練を実施し、国、地方公共団体、原子力事業者、関係機関における初動対応の確立、防災体制の確認、住民避難体制や緊急時医療措置等の災害対策の習熟、原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進を図ることを目的とする。

2 実施日

令和2年8月27日（木） 8：30～16：00

3 対象発電所 関西電力（株） 大飯発電所、高浜発電所

4 場所

おおい町、高浜町、小浜市、若狭町、美浜町、敦賀市等の訓練実施市町

5 訓練参加数

（機 関）

約40機関 約300人

（住 民）

約50人

6 参加・協力機関（順不同）

（1）指定行政機関

内閣府、原子力規制委員会

（2）指定地方行政機関

陸上自衛隊第14普通科連隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊第6航空団、敦賀海上保安部

（3）指定公共機関

日本原子力研究開発機構

（4）自治体関係

福井県、兵庫県、関西広域連合、おおい町、高浜町、小浜市、若狭町、美浜町、敦賀市、姫路市

（5）警察関係

福井県警察本部、小浜警察署

- (6) 消防関係
若狭消防組合消防本部
- (7) 医療機関関係
(公社)福井県診療放射線技師会
- (8) 交通運輸関係
(公社)福井県バス協会、バス事業者、トラック事業者
- (9) その他
(株)NTTドコモ北陸支社
- (10) 原子力事業者関係
関西電力(株)、日本原子力発電(株) 等

7 訓練想定

福井県内で新型コロナウイルスの感染症が発生している中、大飯発電所3号機ならびに高浜4号機において、若狭湾沖を震源とした地震による外部電源喪失後、原子炉冷却材の漏えいが発生し、非常用炉心冷却装置が作動。さらに、ディーゼル発電機等の故障により非常用炉心冷却装置による注水不能により全面緊急事態となる。

8 訓練項目

(1) 緊急時通信連絡訓練

- ア 発電所から事故状況の通報連絡
- イ 国から県および関西広域連合、関係市町への通報連絡、避難指示等の伝達
- ウ 県、関係市町から自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関への通報連絡
- エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、收受等
- オ 携帯型映像伝送装置等を利用した画像伝送

(2) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県庁、各市町庁舎、福井県大飯原子力防災センターに災害対策本部等の設置・運営、情報収集・連絡体制を構築
- イ 災害対策本部等による住民に対する情報提供の実施
(防災行政無線屋外拡声器、個別受信機等による地域住民・立入者等への広報)
- ウ テレビ会議システム等を活用し災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(3) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県大飯原子力防災センターおよび高浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議、原子力災害合同対策協議会の開催(実施方針の決定等)

- ウ 各機能班の活動
- エ 県および市町現地災害対策本部等と各機能班との連携
- オ 住民等の避難状況の確認
- カ 実施方針に基づいた応急対策（避難先等の決定、避難手段の確保など）

（4）住民避難訓練

- ア 避難先施設への避難（避難経路、避難時間の検証）
- イ 自衛隊車両、民間バスによる住民等の陸路からの避難
- ウ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

（5）一時集合施設開設運営訓練

- ア 一時集合施設の設置運営
- イ 避難者受入マニュアルに基づく受入訓練の実施
- ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認
- エ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による一時集合施設への退避
- オ 避難者の受付
- カ 避難者の健康状態の確認
- キ 飲料水・飲食物の供給
- ク 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

（6）避難所開設運営訓練

- ア 避難所の設置運営
- イ 避難者受入マニュアルに基づく受入訓練の実施
- ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認
- エ 避難者の受付
- オ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- キ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認
- ク 車中泊スペースの確保

（7）原子力災害医療措置訓練

- ア 避難退域時検査および簡易除染講習の実施

（8）緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンター等の設置・運営
- イ 緊急時モニタリング実施計画、緊急時モニタリング指示書の作成
- ウ 固定観測局および電子線量計観測局を活用したUPZ圏内の線量率の測定
- エ モニタリングカー、サーベイメータを活用した避難範囲の特定のための線量率の測定
- オ 「緊急時モニタリング情報共有システム（ラミセス）」を活用した関係機関との情報共有
- カ 固定観測局等のバックアップとしての可搬型モニタリングポストの設置および測定
- キ 環境試料の採取、受入

- ク 福井県モニタリング本部（大飯原子力防災センター）の設置・運営および後方支援
- ケ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- コ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理

(9) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県大飯原子力防災センターへの連絡要員の派遣

(10) 物資輸送訓練

- ア 保管施設の開錠・施錠の手順確認
- イ 保管場所から避難場所までの物資輸送（ルートの確認）

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	平成27	28	29	30	令和元	2
総合防災訓練	日時	平成27年8月30日(日)	平成28年10月30日(日)	平成29年8月27日(日)	平成30年11月9日(金)	令和元年11月1日(金)、2日(土)	令和2年11月14日(土)
	場所	小浜漁港、小浜市一円、県立大 学小浜キャンパス	北潟湖畔公園	南越前町日野川河川敷	テクノポート福井、永平寺河川公 園	中部縦貫道、真名川憩いの島	栗野スポーツセンター
	主催	福井県、小浜市	福井県、あわら市	福井県、南越前町、越前市	福井県、福井市、あわら市、坂井 市、永平寺町	消防庁 福井県 福井県消防長会 緊急消 防援助隊中部ブロック訓練実行委員会	福井県、敦賀市
	参加機関	85	93	107	210	170	90
	訓練種目	48	44	41	92	75	45
	想定	大雨による土砂災害および津波 災害	大雨および地震・津波による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害
参加人員	4,100	5,300	3,000	6,000	2,000	700	
石油 コンビ ナート 等 総合防 災訓練	日時	平成27年8月9日(日)			平成30年11月10日(土)		
	場所	福井臨海地区石油コンビナート等特別防 災区域およびその周辺海域			福井臨海地区石油コンビナート等特別防 災区域およびその周辺海域		
	主催	福井県石油コンビナート等防災 本部	未開催	未開催	福井県石油コンビナート等防災 本部	未開催	未開催
	参加機関	30			30		
	訓練種目	28			9		
	想定	地震による原油漏えい、防油堤一部破損 および余震によるタンク火災			地震による原油漏えい、防油堤一部破損 および余震によるタンク火災		
参加人員	451			100			
原子力 総合防 災訓練	日時	平成27年10月16日(金) ※平成27年度は個別訓練	平成28年8月27日(土)、28日 (日)		平成30年8月25日(土)、26日 (日)	令和元年8月30日(金)、31日 (土)	令和2年8月27日(木)
	訓練 対象施設	関西電力(株)高浜発電所	関西電力(株) 高浜発電所、大飯発電所		関西電力(株) 大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所	関西電力(株) 大飯発電所、高浜発電所
	主催	福井県	福井県		国	福井県	福井県
	参加機関	①最初動対応訓練 86機関、442名参加	高浜:150 大飯:100	未開催	191	100	40
	訓練種目	②安定ヨウ素剤緊急時配布訓練 13機関、84名参加	13		13	13	10
	想定	③スクリーニング・除染訓練 6機関、71名参加 ④緊急時モニタリング訓練 6機関、84名参加	全交流電源喪失および原子炉冷 却機能の喪失により、全面緊急 事態に至り、放射性物質放出		全交流電源喪失および原子炉冷 却機能の喪失により、全面緊急 事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷 却機能の喪失により、全面緊急 事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷 却機能の喪失により、全面緊急 事態に至り、放射性物質放出
参加人員		5,546		7,457	8,988	約50	

IV 市町別自主防災組織の結成状況

令和3年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	105,347	1,146	75,737	103,331	98.1%
敦 賀 市	29,010	89	2,225	26,193	90.3%
小 浜 市	11,821	109	1,296	8,849	74.9%
大 野 市	11,748	206	6,025	11,232	95.6%
勝 山 市	7,140	118	1,249	5,440	76.2%
鯖 江 市	25,168	152	4,408	25,104	99.7%
あ わ ら 市	10,234	109	4,556	9,648	94.3%
越 前 市	30,829	239	9,520	30,621	99.3%
坂 井 市	32,475	322	4,425	23,460	72.2%
永 平 寺 町	6,147	89	3,621	6,147	100.0%
池 田 町	918	19	137	710	77.3%
南 越 前 町	3,424	71	1,072	3,348	97.8%
越 前 町	7,255	64	1,520	5,821	80.2%
美 浜 町	3,666	19	6,467	2,270	61.9%
高 浜 町	4,334	40	611	2,799	64.6%
お お い 町	3,266	38	2,086	2,086	63.9%
若 狭 町	4,993	90	1,323	4,723	94.6%
合計・ 平均	297,775	2,920	126,278	271,782	91.3%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（令和3年4月1日現在）

隊 員 数：自主防災組織の組織編成において隊員または班員等に位置づけられている実働隊員の総数（令和3年4月1日現在）

第4章 防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（令和3年4月1日現在）

〔固定系〕

区 分	局数		設 置 場 所
	多重系	衛星系	
統 制 局	1	1	県庁
中 継 局	7		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国） 八ツ杉（越前市別印） 勝山（勝山市滝波町） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）
支 部 局	7	7	7 土木（福井、三国、奥越、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜）
合 庁 局	1	1	1 合同庁舎（福井）
ダ ム 管 等 局	12		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管※、龍ヶ鼻ダム下流連絡所※、永平寺堰堤※ 笹生川ダム管、笹生川堰堤※、浄土寺川堰堤※ 広野ダム管、広野堰堤※、榊谷堰堤※ 大津呂堰堤※、河内川堰堤※ ※水防無線局を含む
小 計	28	9	
端 末 局	県出先機関	13	健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）、 県立病院、福井港湾、敦賀港湾、 衛生環境センター、防災航空事務所※ 坂井上水、日野川上水 ※福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市 町	17	9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部	7	7 消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 ※鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機 関等	19	福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小 計		56
衛 星 車 載 局		1	
可 搬 型 地 球 局		3	
合 計	28	69	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所	
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 八ツ杉、勝山） 土木事務所（敦賀） 笹生川ダム管	
	F W A (18GHz)	1	坂井合同庁舎	
	400MHz防災相互	1	防災航空事務所	
	計	13		
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）	
陸 上 移 動 局	全県移動局 260MHzデジタル	車載型	47	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型	39	県出先機関 8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
				9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
				8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
				9消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭
		5防災関係機関：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井		
		携帯型	70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
	携帯型(他機関)	44	原子力センター 3台、地域医療課 41台	
	小 計	200		
	F W A (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局	
	消 防 移 動 局	車載型	1	防災航空事務所
携帯型		8	県庁 1台、防災航空事務所 7台	
小 計		9		
防 災 移 動 局	携帯型	5	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
計		215		
携 帯 局 (ヘリ用)	消防用	2	防災ヘリコプター	
航 空 機 局	航行運航用	1		
簡 易 無 線 局		2	簡易画像伝送装置（衛星車載局に搭載）	
ヘ リ サ ツ ト 局	携帯基地地球局	固定型	1	県庁局
	ヘリコプター局	ヘリ搭載型	1	防災ヘリコプター
	計		2	
合 計			241	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

令和2年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 ・ 合 庁 局	322,204	26,850	(9局) 2,983
ダ ム 管 等 局	10,963	914	(11局) 83
県 出 先 機 関	8,519	710	(14局) 51
市 町	738	62	(17局) 3.6
消 防 本 部	290	24	(9局) 2.7
国 出 先 機 関	65	5.4	(5局) 1.1
公 共 機 関	61	5.1	(9局) 0.6
原 子 力 発 電 所 等	80	6.7	(10局) 0.7
合 計	342,920	28,577	(84局) 340

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

令和2年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	200	1,725	761	2,686	727	26	3,439
前年比 (%)	238	112	105	115	279	65	130

[指令種類別]

令和2年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	3,198	55	189	146	0	3,588
前年比 (%)	133	102	103	91	—	128

(3)一斉指令月別通信回数

区分	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
内容	気警報	4	0	4	0	34	100	20	26	2	0	10	200
	象注意報	174	132	170	175	93	120	132	186	144	134	165	1,725
	関係情報	92	83	110	45	19	69	118	52	75	8	12	78
別	係小計	270	215	284	220	203	338	204	287	154	146	253	2,686
	事務連絡	14	8	79	71	56	90	60	72	43	53	124	727
種別	テラスト	3	3	1	0	0	5	0	0	1	4	3	26
	計	287	226	364	291	168	433	264	359	198	203	380	3,439
種類別	全県	271	215	340	291	160	389	242	326	190	190	357	3,198
	県出先	8	4	0	1	3	0	5	2	2	9	7	55
	市町	8	7	15	11	3	30	42	17	6	4	18	189
	消防	6	8	4	2	1	24	39	17	28	2	13	146
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	293	234	359	305	167	295	470	281	384	200	205	395	3,588

備考:市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信用回数集計表

令和2年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	2,398	2,739	3,245	3,459	2,454	2,992	2,780	2,471	2,575	2,750	2,354	2,433	32,650
三国支部・坂井合庁	2,682	2,785	3,340	3,650	2,791	3,620	3,125	2,903	3,025	3,288	2,732	2,775	36,716
奥越支部・奥越合庁	2,405	2,539	3,398	3,533	2,929	3,307	3,364	2,424	2,483	3,058	2,510	2,558	34,508
勝山中継局(注1)	695	731	797	275	217	382	517	346	367	387	369	306	5,389
丹南支部・南越合庁	3,541	4,001	5,204	5,335	4,501	5,245	5,013	3,812	4,278	4,609	3,915	3,762	53,216
鯖江丹生支部	1,464	1,333	1,730	2,399	1,513	2,019	1,737	1,450	1,487	1,654	1,470	1,382	19,638
敦賀支部・敦賀合庁	2,968	3,182	3,849	3,380	2,832	4,027	3,531	2,930	3,196	3,527	3,128	3,218	39,768
小浜支部・若狭合庁	4,375	4,588	5,900	5,704	4,397	5,505	5,085	4,055	4,511	4,712	4,320	4,469	57,621
福井合庁	3,118	3,088	4,215	3,885	3,154	3,593	3,489	2,855	3,127	3,544	2,733	2,893	39,694
丹生合庁	721	988	1,295 (廃局)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,004
原子力センター	464	574	522	484	399	458	530	475	342	475	436	385	5,544
笹生川ダム管	125	132	173	188	155	111	236	76	103	176	121	188	1,784
笹生川堰堤	0	0	3	8	15	9	24	23	5	15	28	1	131
浄土寺川堰堤	0	0	0	2	11	20	2	14	12	13	7	0	81
広野ダム管	149	139	189	135	159	200	330	133	212	183	131	161	2,121
広野堰堤	2	2	5	7	13	11	12	4	9	6	13	15	99
杵谷堰堤	4	1	4	5	8	6	3	9	0	10	8	15	73
龍ヶ鼻ダム管	53	67	67	35	65	166	147	114	106	71	75	96	1,062
永平寺堰堤	4	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	10
大津呂ダム管	0	0	0	18	0	9	6	0	1	0	5	0	39
河内川堰堤	0	0	0	1	1	9	1	1	0	0	6	0	19
計	25,168	26,891	33,936	32,503	25,614	31,693	29,932	24,095	25,839	28,478	24,361	24,657	333,167

(注1) 恐竜博物館への通信を含む

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している。

4 端末局無線通信回数調

令和2年中

無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	66	福 井 消 防	21	福 井 気 象 台	44
敦 賀 市	75	大 野 消 防	24	鯖 江 自 衛 隊	7
小 浜 市	27	勝 山 消 防	40	舞 鶴 自 衛 隊	2
大 野 市	30	永 平 寺 消 防	33	敦 賀 海 保	6
勝 山 市	71	嶺 北 消 防	49	福 井 海 保	6
鯖 江 市	60	鯖江丹生消防	66	国 出 先 計	65
あ わ ら 市	25	南 越 消 防	16	福 井 駅	7
越 前 市	46	敦賀美方消防	21	N H K 福 井	4
坂 井 市	53	若 狭 消 防	20	福 井 テ レ ビ	5
市 計	453	消 防 計	290	福 井 放 送	5
永 平 寺 町	39	福 井 保 健	42	F M 福 井	5
池 田 町	25	若 狭 保 健	118	日 赤 福 井	2
南 越 前 町	26	二 州 保 健	169	福 井 県 医 師 会	6
越 前 町	40	丹 南 保 健	1,419	福 井 火 力	6
美 浜 町	59	坂 井 保 健	63	福 井 備 蓄	21
若 狭 町	22	奥 越 保 健	82	公 共 機 関 計	61
お お い 町	44	武 生 保 健	6	原 電 敦 賀	8
高 浜 町	30	衛 生 環 境 セ ン タ ー	2,522	関 電 美 浜	12
町 計	285	県 立 病 院	376	関 電 大 飯	6
市 町 計	738	防 災 航 空 隊	54	関 電 高 浜	6
		福 井 港 湾	295	原 子 力 機 構 ふ げ ん	6
		敦 賀 港 湾	2,503	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	10
		福 井 空 港	22	敦 賀 オ フ サ イ ト	6
		坂 井 上 水	217	美 浜 オ フ サ イ ト	7
		日 野 川 上 水	631	大 飯 オ フ サ イ ト	12
		県 出 先 計	8,519	高 浜 オ フ サ イ ト	7
				原 子 力 発 電 所 等 計	80
				合 計	9,753

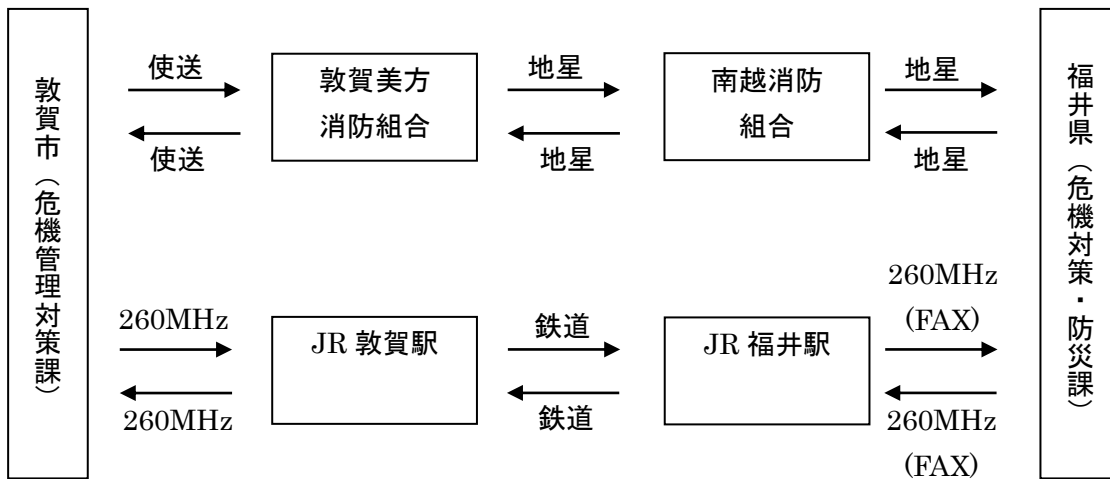
※衛星回線による、端末局同士の通信回数はカウントされていない

※武生保健は令和2年3月末に廃局となった

5 非常通信訓練実施状況

(1) 令和2年度福井県総合防災訓練における非常通信訓練（令和2年11月14日）

- ・ 敦賀市役所から福井県あて往復信（消防・鉄道ルートを使用）
- ・ 県の260MHz帯デジタル無線機を敦賀市役所およびJR敦賀駅に貸出し、敦賀市役所～JR敦賀駅で非常通信訓練を実施

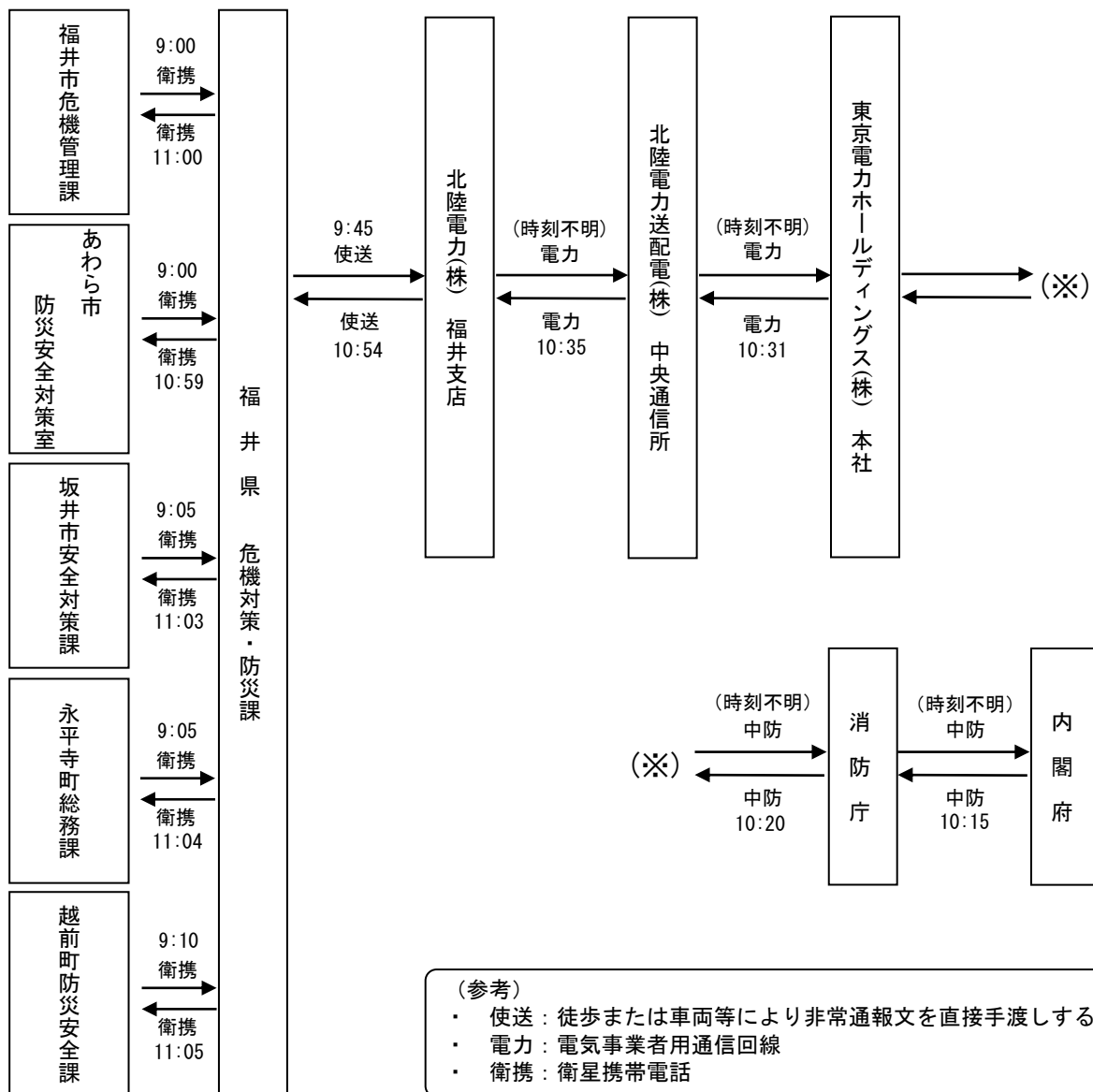


(参考)

- ・ 260MHz：260MHz帯デジタル無線
- ・ 鉄道：鉄道会社用通信回線
- ・ 地星：地域衛星通信ネットワーク

(2) 令和2年度 第83回全国非常通信訓練 (令和2年11月11日)

- ・ 嶺北北部地方の各市町から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信。市町～県庁間は衛星携帯電話 (ワイドスターII)、県庁～内閣府間は電力ルートを使用。

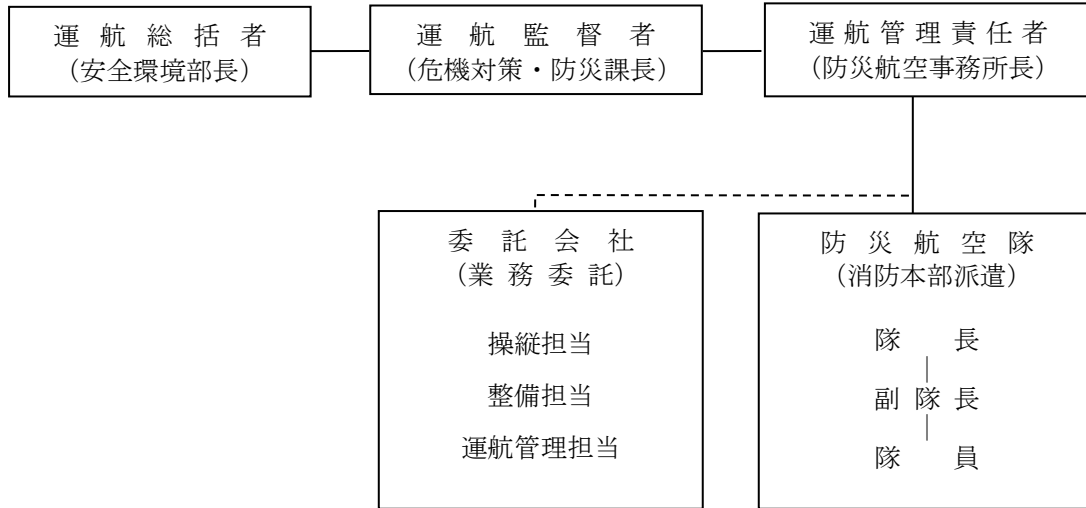


第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

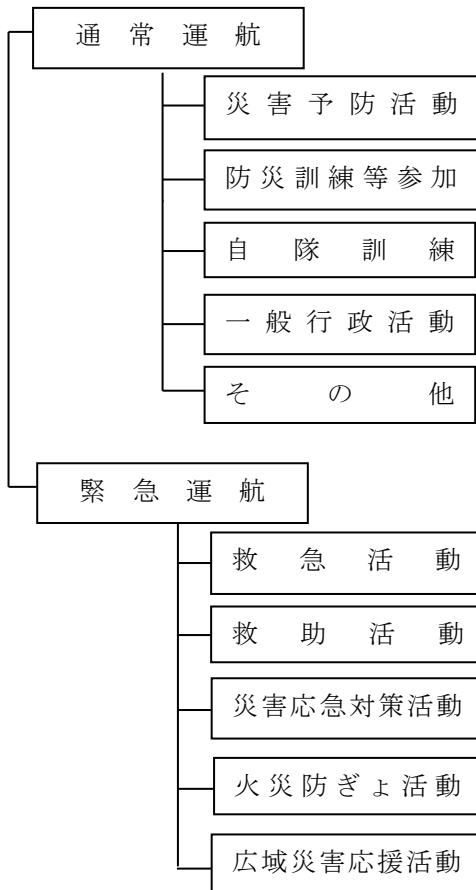
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 （ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで）

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585kg
最大搭載可能重量	1,715kg
航続距離	685km
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,500kg
全長	13.03m
全高	3.95m
最大速度	278km/h
航続時間	約3.5h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

令和3年3月31日現在

区分	緊急運航						通常運航						合計	
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害応援	計	自隊訓練	防災訓練参加	災害予防活動 危険箇所調査	災害予防活動 災害予防広報	一般行政	整備		その他
平成22年度	件数 22 時間 9:31	26 19:26			15 21:26	63 50:23	128 162:56	40 30:53		4 10:24	3 4:57	4 7:21	3 2:46	245 269:40
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62 39:18	125 151:46	39 29:10		4 16:10	4 5:08	3 5:23	4 3:31	241 250:26
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61 46:39	162 183:11	39 27:30		3 11:08	1 1:40	5 7:41	5 2:03	276 279:52
平成25年度	件数 29 時間 15:24	23 19:33	9 13:12		12 13:28	73 61:37	158 184:16	33 21:18		3 11:11	1 1:40	5 5:54	4 4:05	277 290:01
平成26年度	件数 28 時間 12:35	29 20:32			12 12:35	69 45:42	139 146:21	33 26:36	1 1:43	3 11:43	4 2:16	8 8:02	8 5:26	265 247:49
平成27年度	件数 36 時間 19:30	36 26:08			6 9:38	78 55:16	162 174:09	40 25:37			2 2:24	6 4:16	3 2:37	291 264:19
平成28年度	件数 37 時間 20:50	31 30:03			10 14:41	78 65:34	142 152:04	40 29:34			2 3:17	9 10:26	2 1:21	273 262:16
平成29年度	件数 28 時間 15:55	40 29:37		1 1:04	14 14:55	83 61:31	152 159:41	27 20:22			1 1:26	7 5:06	3 1:34	273 249:40
平成30年度	件数 21 時間 15:19	18 9:26	1 0:25	1 0:24	21 12:56	62 38:30	176 188:45	32 22:58				8 5:48	4 1:44	282 257:45
令和元年度	件数 25 時間 13:50	36 24:25	2 1:23		28 24:21	91 63:59	167 183:15	25 22:10				11 6:49	4 2:23	298 278:36
令和2年度	件数 35 時間 16:26	42 23:20	1 1:07	2 1:50	8 8:50	88 51:33	155 179:38	37 31:29				19 9:31	1 0:51	300 273:02

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

第6章 衛星車載局の運用体制

1 収 容

福井県消防学校内

2 運用組織図

使用管理者 (危機対策・防災課長)	運用統括責任者：運用総括業務	1名
	通信機器操作員：通信機器類の操作、調整	2名
	県庁統制局の操作、調整	1名
	情報収集伝達員：情報の収集、伝達	2名

3 運 用

<非常時の運用>

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

<平常時の運用>

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

4 主な仕様

<アンテナ装置>

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径	1.8m
駆動部	電動/手動		
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能		

<送受信装置>

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

<端局装置>

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4CH
	デジタル画像送信用	1CH
	デジタル画像受信用	1CH

デジタル画像変復調部 動 画：6Mbps

<その他端末装置>

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送